

第48回(H21年度)日本地すべり学会研究発表会 口頭発表及びポスター発表会						
第一会場						
日付	開始時刻	終了時刻	セッション	発表番号	発表者	発表演題名
8月26日	13:00	13:15	[事例報告]	1-1	廣橋 典明	融雪により発生した花立地区(新潟県妙高市)地すべり災害の事例
	13:15	13:30		1-2	古谷 元	南平池谷地区における地震時斜面変動
	13:30	13:45		1-3	古谷 尊彦	糸魚川-静岡構造線北端部姫川沿いの地すべりについて
	13:45	14:00		1-4	松井 宏樹	洞門上部斜面の崩壊機構および崩壊土砂対策工の検討事例
	14:00	14:15		1-5	坂井 俊介	グランドアンカーエクスカバト試験結果と地質の関係
	14:15	14:30		1-6	小川 洋	地震地すべりによる河道閉塞の状況と緊急対策
	14:30	14:45		1-7	茂木俊	岩手・宮城内陸地震後に榎本平地すべり地で見られた被害事例
	14:45	15:00		1-8	児玉 浩	2008年岩手宮城内陸地震、一迫川・三迫川土石流災害への初期対応
	15:00	15:15		(休憩)		
	15:15	15:30		1-9	弘崎 聰	能登半島地震により発生した高速地すべり
	15:30	15:45		1-10	檜垣大助	山形県真室川町鮎川沿いの地すべり発生年代とその意義
	15:45	16:00		1-11	相楽 渉	複雑な移動方向を呈する大規模地すべりの地下水排除工効果の評価～福島県滝坂地すべりにおける検討事例～
	16:00	16:15		1-12	加藤 晓之	埼玉県秩父郡皆野町の出牛・黒谷断層近傍における地すべりの発生機構
	16:15	16:30		1-13	永田 秀尚	2008年9月豪雨による三重県菰野町国道477号鈴鹿スカイラインにおける岩盤すべり
	16:30	16:45		1-14	遠藤 司	北但地域における巨大地すべりの挙動解析例
	16:45	17:00		1-15	山岸 宏光	四国の防災GISマップと2004年新居浜豪雨崩壊
8月27日	9:00	9:15	[事例報告]	1-16	前田 寛之	変成帶地すべりにおけるすべり面粘土の形成プロセス-四国の三波川帯、秩父帯、黒瀬川構造帯および四万十帯の例-
	9:15	9:30		1-17	末峯 章	結晶片岩地すべり地における尾根からの地下水流动の観測例 II
	9:30	9:45		1-18	鰐 洋一	3次元浸透流解析を用いた農地地すべりにおける暗渠工配置の検討
	9:45	10:00		1-19	中川 光雄	3次元個別要素法による急崖斜面の岩盤崩落シミュレーション
	10:00	10:15		1-20	岡田 康彦	崩落岩塊実験で得られた等価摩擦係数の検討
	10:15	10:30		1-21	常光 伸照	大規模盛土造成地の変動予測調査(第二次スクリーニング)の事例報告
	10:30	10:45		1-22	山田 知寛	応急緊急対策としての横ボーリング工の施工規模と配置の自安決定に関する事例分析
	10:45	11:00		(休憩)		
	11:00	11:15	[対策]	1-23	大久保 大介	水抜きボーリング用集水管「斜孔管」の開発と効果検証
	11:15	11:30		1-24	伊吹 敦	水抜きボーリング時の水位変動と水みちに関する考察
	11:30	11:45		1-25	兼子 健男	小型ポンプを利用した地すべり地帯におけるドレンパイプの維持・管理(第2報)
	11:45	12:00		1-26	門間 俊之	地すべり抑止杭の耐震補強効果に関する解析的検討
	12:00	13:00	休憩			
	13:00	14:00	ポスター発表会			
8月27日	14:00	14:15	[対策]	1-27	川満 一史	島尻層群と那原層泥岩におけるグラウンドアンカーデザインに用いる地盤の極限周面摩擦抵抗について
	14:15	14:30		1-28	伊藤 圭一	杭工とアンカーエクスカバト併用による遠心力模型実験のFEM解析による再現に基づく機構検討
	14:30	14:45		1-29	石田 孝司	FEM解析による杭工とアンカーエクスカバト併用時の抑止機構と荷重分担割合に関する検討
	14:45	15:00		1-30	太田 敬一	FEM解析による杭工とアンカーエクスカバト併用した地すべり対策の設計方法に関する検討
	15:00	15:15		(休憩)		
	15:15	15:30	[斜面安定]	1-31	秦 吉弥	降雨と地震による影響を考慮した斜面安定評価
	15:30	15:45		1-32	福圓 輝旗	斜面崩壊発生時刻の早期予測について
	15:45	16:00	[その他]	1-33	伊藤 孝司	心理学的手法を用いた警戒避難行動計画
	16:00	16:15		1-34	鈴木 比奈子	正徳四年(1714)信州小谷地震における岩戸山崩落とそれによる塞き止め湖の浸水範囲
	16:15	16:30		1-35	林 挙郎	能登半島地震により発生した斜面崩壊要因と崩壊面積率
	16:30	16:45		1-36	梅村 順	平成20年岩手・宮城内陸地震時にゾウワズ源頭部で生じた斜面崩壊について
	16:45	17:00		1-37	斎藤 仁	Decision-tree modelを用いた大規模崩壊発生地の推定とその検証—赤石山脈を対象として—
	17:00	17:15		1-38	奥田 慎吾	地すべりとトンネルの相互影響を評価するための数値解析モデルの構築

第二会場						
日付	開始時刻	終了時刻	セッション	発表番号	発表者	発表演題名
8月26日	13:00	13:15	[地すべり機構]	2-1	大曾根啓介	濁沢地すべりの発生機構と対策について
	13:15	13:30		2-2	齋藤華苗	中越地震で発生した横渡地すべりのサンドダイクと過剰間隙水圧の発生
	13:30	13:45		2-3	笹原 克夫	粒度分布の異なる砂質土のサクション除荷に伴うせん断・圧縮変形特性
	13:45	14:00		2-4	藤井 公博	中越地震において急速せん断を受けた砂のせん断強さと粒度特性
	14:00	14:15		2-5	木村 匠	安里地すべりの発生(初生)・再滑動に関する強度
	14:15	14:30		2-6	Vithana Buddhi Shriwantha	Ring Shear Behaviour of Two Texturally Different Landslide Soils under Two Overconsolidated Ratios
	14:30	14:45		2-7	岩田 直樹	現地計測データに基づく土壤水分特性曲線の算定
	14:45	15:00		2-8	丹下 英雄	原位置計測より定めた土壤水分特性を用いた降雨浸透過程の再現計算
	15:00	15:15		(休憩)		
	15:15	15:30		2-9	片山 弘憲	土壤水分特性曲線の吸水時と排水時のヒステリス
	15:30	15:45		2-10	西井 稲子	赤石山脈アレズ崩壊地頂部の変形モニタリング—岩盤すべりの季節的変動—
	15:45	16:00		2-11	神原 規也	岩盤断崖斜面の形成過程に関する考察
	16:00	16:15		2-12	稻垣 秀輝	風化花崗岩における初生重力変形による共役クラックの発生
	16:15	16:30		2-13	伊藤克己	凹陥地の地下におけるすべり面形状について
	16:30	16:45		2-14	盛合 褒夫	構造発達史から見た東北地方の地すべりーその5ー
	16:45	17:00		2-15	妹尾 洋一	長野県北部、融雪期の受け盤型地すべり災害事例
8月27日	9:00	9:15	[地すべり機構]	2-16	加藤 弘徳	高知県大引割地域に発達する山上凹地と地質構造の関係
	9:15	9:30		2-17	中村 真也	島尻層群泥岩地すべりの発生と実効雨量の関係
	9:30	9:45		2-18	福岡 浩	中国四川地震による大規模地すべりと地震後豪雨による土石流
	9:45	10:00		2-19	下河 敏彦	宅地擁壁の目視点検による危険度判定法
	10:00	10:15		2-20	千田 容嗣	音響を活用した距離計測システムにおけるノイズの除去方法に関する考察
	10:15	10:30	[地すべり調査・計測]	2-21	中村 朝日	白神山地岩木川上流部における地すべり地形の分布と発達
	10:30	10:45		2-22	岩部 司	大分県中部の地すべり地形と地質区分
	10:45	11:00		(休憩)		
	11:00	11:15		2-23	山田 政典	LWLP工法を用いた三波川帶地すべりの発生過程
	11:15	11:30		2-24	中川 渉	軟質凝灰岩分布地域における長大切土のり面観測事例
	11:30	11:45		2-25	窪塚 大輔	既設アンカー緊張力モニタリングシステムの開発
	11:45	12:00		2-26	永江 祐	地中無線通信システムを活用した斜面崩壊検知センサの開発 と現場への適用
	12:00	13:00		休憩		
	13:00	14:00		ポスターセッションコアタイム		
	14:00	14:15	[地すべり調査・計測]	2-27	井口 隆	本州・四国・九州3島における地すべり地形分布の特徴
	14:15	14:30		2-28	納谷 宏	非接点式による計測技術の研究Vol.5
	14:30	14:45		2-29	中里 裕臣	低価格PCとGPSを利用した災害時の地すべり移動量観測事例
	14:45	15:00		2-30	大前 勝稔	観測計器の併用による地すべり観測の有効性について
	15:00	15:15		(休憩)		
	15:15	15:30		2-31	奥山 浩路	積算水位を用いた降雨対水位変動解析
	15:30	15:45		2-32	渥美 賢拓	再利用可能な埋設型すべり面間隙水圧計の開発
	15:45	16:00		2-33	奥山 武彦	2008年岩手・宮城内陸地震の際に観測された間隙水圧
	16:00	16:15		2-34	横山 賢治	ボーリングサイクルを乱さない間隙水圧測定
	16:15	16:30		2-35	林 信雄	山瀬地すべり地内の地下水位変動予測
	16:30	16:45		2-36	木村 善和	導電率計測システムを用いた地下水追跡手法
	16:45	17:00		2-37	丸山 清輝	地すべり地の横ボーリングの閉塞実態に関する調査

第三会場										
日付	開始時刻	終了時刻	セッション	発表番号	発表者	発表演題名				
8月26日	13:00	13:05	【特別セッション】		委員長挨拶					
	13:05	13:35	【特別セッション・基調講演】		平野幸生	中越地震及び中越沖地震における新潟県の斜面対策				
	13:40	13:55	【特別セッション・地震地すべりのメカニズム(調査研究)】	3-1	千木良雅弘	2008年四川大地震により発生した地すべりの特徴と地表地震断層との関係				
	13:55	14:10		3-2	王功輝	Investigation on some catastrophic landslides and landslide dams triggered by the 2008 Wenchuan earthquake				
	14:10	14:25		3-3	釜井俊孝	地すべりにおける地震応答 —これまでの観測事例から—				
	14:25	14:40		3-4	笠原亮一	GISを用いた岩手・宮城内陸地震と新潟県中越地震の地すべり発生場特性の比較				
	14:40	14:55		3-5	阿部 真郎	地震地すべり発生要因としての地形・地質的特徴				
	14:55	15:10		(休憩)						
	15:10	15:25		3-6	福岡 浩	平成20年岩手・宮城内陸地震による荒砥沢地すべりとすべり面液化				
	15:25	15:40		3-7	橋本 純	荒砥沢地すべりの地質的特徴				
	15:40	15:55		3-8	長谷川 陽一	荒砥沢地すべりのすべり面および地質ごとの土質・岩石特性				
	15:55	16:10		3-9	山科 真一	荒砥沢地すべりのすべり面構造と地すべり発生機構				
	16:10	16:25		3-10	濱崎 英作	荒砥沢地すべりの発生機構に関する研究 — RBSM3D解析結果から —				
	16:25	16:40		3-11	蔡 飛	新潟県中越地震による逃入地すべりに関する動的有効応力解析				
	16:40	16:55	(総合質疑)							
8月27日	9:00	9:15	【特別セッション・荒砥沢地すべりのメカニズム(力学的検討)】	3-12	萩原 育夫	不連続体解析法による地震時岩盤斜面崩壊の挙動解析				
	9:15	9:30		3-13	鵜飼 恵三	Shaking Table Tests of Laboratory Flume for Rock Avalanche				
	9:30	9:45		3-14	山田 正雄	大規模地震による雲仙溶岩ドームの高速岩盤崩壊シミュレーション				
	9:45	10:00		3-15	汪 発武	四川大地震による長距離高速運動地すべりの発生・運動機構 —東河口地すべりを例として				
	10:00	10:15		(休憩)						
	10:15	10:30		3-16	野崎 保	鳶泥と国見泥(予報) 一立山カルデラ内の巨大崩壊堆積物				
	10:30	10:45		3-17	八木浩司	2008年岩手・宮城内陸地震で発生した深層地すべりは単なる再活動型地すべりか?				
	10:45	11:00	【特別セッション・海外、歴史地震、最近の地すべり】	3-18	渡邊 一史	平成20年岩手・宮城内陸地震における栗駒山南麓での地すべり性斜面変動の地形・地質的発生素因				
	11:00	11:15		3-19	柴崎 達也	中越地震で再滑動した地すべりの土質特性と前回地すべりイベントの年代について				
	11:15	11:30		3-20	井上 公夫	史料・絵図・旧版地形図・航空写真などから地震地すべりを読み解く方法				
	11:30	11:45		3-21	東畑 郁生	2009年コスタリカ・チニョナ地震における斜面崩壊調査報告				
	11:45	12:00		(総合質疑)						
	12:00	13:00	休憩							
	13:00	14:00	ポスターセッションコアタイム							
	14:00	14:15	【特別セッション・危険度評価及び二次災害】	3-22	奥西一夫	ダム湛水域の地震時地すべり危険度評価について				
	14:15	14:30		3-23	蒋 景彩	2004年新潟県中越地震被災地への広域斜面崩壊予測法の適用				
	14:30	14:45		3-24	ハスバートル	震源断層と地震により発生した地すべりの分布 —新潟県中越地震、中越沖地震を事例として—				
	14:45	15:00		3-25	鈴木 聰樹	地すべり地縁辺部の地形と中越地震により発生した地すべりとの関連性				
	15:00	15:15		3-26	岡本 隆	地震後に活動が沈静化した特異な地すべり事例とその要因の検討				
	15:15	15:30		(休憩)						
	15:30	15:45		3-27	土佐 信一	蔭名地区における地震時の地下水排除工の効果検討				
	15:45	16:00		3-28	門間 俊之	地すべり抑止杭の耐震補強効果に関する解析的検討				
	16:00	16:15		3-29	倉岡 千郎	アンカーアーの地震時の挙動に関する遠心力載荷模型実験				
	16:15	16:30		3-30	新井場 公徳	地震時及びその後の地すべりに関する警戒避難についての予察				
	16:30	17:00	【特別セッション・特別講演】 甘肃省地すべり土石流研究会	河西地震による地すべり災害(仮題)						
	17:00	17:15	(総合質疑)							

ポスターセッション			
セッション	発表番号	筆頭著者	発表演題名
ポスターセッションコアタイム 8/27 13:00~14:00			
ポスターセッション	P-1	小原 嬢子	地すべり災害による交通途絶に伴う間接被害の算定事例
	P-2	佐藤丈晴	斜面災害防除施設に関する道路維持修繕計画の立案
	P-3	今村 隆正	名立崩れ
	P-4	林 一成	第三系地すべり多発地域の地すべりと地震地すべりとの比較
	P-5	田中 賴博	荒砥沢地すべりを含む広域地震応答解析
	P-6	本坊 将志	地震災害地における山地斜面の振動特性
	P-7	小野田 敏	岩手・宮城内陸地震における地殻変動とマスムーブメントの関係 ～合成開口レーダーを用いた検討～
	P-8	森屋 洋	2008年岩手・宮城内陸地震時における秋田県東成瀬地域の地すべり変動
	P-9	千葉 則行	平成20年岩手・宮城内陸地震で発生した斜面変動の分布特性
	P-10	阿部 真郎	ケスタ上地すべりの発生要因としての地震と地下水
	P-11	佐藤 貴史	平成19年島根県隱岐島の豪雨災害で発生した斜面崩壊の特徴
	P-12	高澤 忠司	2004年7月新潟豪雨により発生した崩壊のGISを用いた特性解析
	P-13	佐藤 剛	ブータン王国、モンデ、チューリ流域における地すべり地形学図作成計画
	P-14	堀田 亨	レーザープロファイルを用いた微地形判読への活用例
	P-15	安田 匡	物理探査の有効性が確認できた地すべり災害調査
	P-16	岩崎 智治	GPSによる地すべり地表面計測の実用性検証③ － 大規模地すべりでの長期計測結果と対流圏の影響について －
	P-17	千葉 伸一	地すべり地の挿入式孔内傾斜計計測における計測データへの鉛直変位の影響
	P-18	杉本 利英	地すべり調査における地中レーダー探査の適用性 －大規模地すべりを例として－
	P-19	千田 容嗣	加速度センサを応用した地表傾斜計の設置方法に関する試験報告
	P-20	坂本 孝之	特殊な地すべり環境下でも使用可能な観測装置
	P-21	石丸 聰	凍結・融雪期の降雨により生じた平底型浸食と土石流 ～雌阿寒岳2008年5月の大雪による例～
	P-22	内田 克	落合地すべりにおけるすべり面観察とその後の地すべり対策
	P-23	浅野 志穂	山形県鶴山川地すべり地の地下水変動の経年変化
	P-24	脇田 茂	荒砥沢スプレッドの地すべり構造に関する研究 ～調査報告2 下部ブロック内のグラーベンの構造～